

2011年、東京でのペール・アクセルソン教授の最終公演を聴きに行ってから予防に対しての自分の考え方が変わった。思い返すと、それまでの考えはリコールだったのだ。数ヶ月ごとに受診してもらいなんとなく清潔にしてあげていればいい、症状が悪化する場合は患者の自己管理が悪いと思っていた。患者もこちらに依存し、僕らも患者に依存していたのだ。聴講後、どうしたらこのジレンマを解消できるのか、どうしたら自分の住むこの地域に反映していけるのか悩んだ。

それ以降、スタッフの仕事に対するやりがいと喜びや充実感のため、地域住民の健康を守るため OP セミナーに参加したいとずっと思っていた。また、自院で MTM を確立させていくやり方がわからず、なかなか導入できていない状態が続いた。

そんな矢先につきやま歯科で開催されている PHIJ コースの紹介をされたのだ。

8ヶ月間の PHIJ では、講義や実習を DH と受講することにより、自分がその場で得ることができた情報や自院での問題点をリアルタイムで共有できた。そのため、全てのスタッフで情報を共有することが実行しやすい環境だった。また、同行 DH は同セミナーに参加されている他医院の DH の方々と交流を持つことができる機会があり、経験の浅い DH は自分がしてきたことの確認や疑問点の解消、情報交換をすることができ心の支えになってもらったようだ。受講したことにより、MTM を自院に導入することに抵抗があったスタッフやそれを実行する力不足な自分に力強い後押しをしていただいた。

今後、PHIJ に参加させていただいた情報や知識を生かし、地域医療に貢献してきてるように、より良い環境整備や知識向上を怠らず、頑張っていきたいと思っている。また、PHIJ で勧めていただいた、日吉歯科診療所の 2017 年 6 月の OP コースに参加し、さらに自院から情報を地域に発信したいと考えている。